

第17回宇宙開発委員会(定例会議)

議 事 次 第

1. 日 時 昭和58年10月26日(水) 午後2時～2時30分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1)M-3Sロケット4号機の打上げに係る安全の確保に関する審議について
(2)昭和58年度8～9月期における人工衛星及び人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結果の評価に関する審議について
4. 資 料 委17-1 第16回宇宙開発委員会(定例会議)
議事要旨(案)
委17-2 M-3Sロケット4号機の打上げに係る安全の確保に関する審議について(案)
委17-3 昭和58年度8～9月期における人工衛星及び人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結果の評価に関する審議について(案)

委17-1

第16回宇宙開発委員会(定例会議)

議 事 要 旨 (案)

1. 日 時 昭和58年9月28日(水) 午後2時～3時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 粒子加速装置を用いた宇宙科学実験(SEPAC)の実験計画について
4. 資 料 委16-1 第15回宇宙開発委員会(定例会議)
議事要旨(案)
委16-2 SEPAC

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

“ 委員

“ “

“ “

説明者

文部省宇宙科学研究所教授

“ “ “

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

“ 長官官房審議官

文部省学術国際局審議官

吉 識 雅 夫

斎 藤 成 文

井 上 啓次郎

大 塚 茂

野 村、民 也

長 友 信 人

福 島 公 夫

三 浦 信

植 木 浩

(代理:佐藤)

通商産業省機械情報産業局次長

“ 工業技術院総務部長

運輸大臣官房審議官

運輸省気象庁総務部長

“ 海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

建設大臣官房技術参事官

文部省宇宙科学研究所研究協力課
事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

“ “ 宇宙国際課長

児 玉 幸 治

(代理:古市)

矢 橋 有 彦

(代理:梅沢)

武 石 章

(代理:沼野)

平 井 清

(代理:中村)

植 村 香 苗

(代理:谷)

永 野 明

(代理:米田)

萩 原 浩

(代理:太島)

秋 元 春 雄

清 水 眞 金

森 忠 久

他

6. 議 事

(1) 前回議事要旨の確認

第15回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨案(資料16-1)が確認された。

(2) 粒子加速装置を用いた宇宙科学実験(SEPAC)の実験計画について

文部省宇宙科学研究所の野村民也教授及び長友信人教授より、資料委16-2に基づき説明が行われたのち、文部省宇宙科学研究所の粒子加速装置を用いた宇宙科学実験(SEPAC)計画の実施が了承された。

委17-2

M-3Sロケット4号機の打上げに係る安全の 確保に関する審議について(案)

昭和58年10月26日

宇宙開発委員会決定

昭和58年度1～2月期に予定されている、M-3Sロケット4号機の打上げに係る安全の確保に資するため、次により調査審議を行うものとする。

1. M-3Sロケット4号機の打上げにおいて文部省宇宙科学研究所が実施しようとしている安全対策について、飛行安全を中心に調査審議を行うものとする。
2. 1.の調査審議は、第三部会において行い、昭和58年11月末までに終えることを目途とする。

(参考)

宇宙開発委員会第三部会構成員

昭和58年10月

(50音順)

部会長	正	田	強	福井工業大学長
部会長代理	長	洲	秀夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所科学研究官
専門委員	*	秋葉	鍬二郎	文部省宇宙科学研究所教授
		阿部	博	警察庁科学警察研究所法科学第二部長
	*	上杉	邦憲	文部省宇宙科学研究所助教授
		木村	清司	宇宙開発事業団安全管理部長
		日下部	正夫	通商産業省工業技術院化学技術研究所 保安環境化学部第二課長
	*	倉谷	健治	文部省宇宙科学研究所教授
		清水	昭夫	通商産業省立地公害局保安課火薬専門職
		竹中	幸彦	宇宙開発事業団理事
		徳田	修造	郵政省電波監理局無線通信部長
		中川	昇	自治省消防庁消防研究所研究企画官
		長沢	修	運輸省航空局技術部長
		野村	忠清	外務省国際連合局外務参事官
		橋口	幸雄	通商産業省工業技術院化学技術研究所 保安環境化学部第三課長
	*	雛田	元紀	文部省宇宙科学研究所教授
		森	孝顕	運輸省海上保安庁警備救難部長
		山中	龍夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所主任研究官
		山本	草二	東北大学法学部教授
		山本	達雄	通商産業省立地公害局保安課高圧ガス班長
		寄水	義雄	宇宙開発事業団計画管理部長
		渡辺	正明	宇宙開発事業団打上官制部長
		和田	勇	科学技術庁航空宇宙技術研究所空気力学 第一部長

注) *印の専門委員は、今回の調査審議については、説明者として参加する。

委17-3

昭和58年度8～9月期における人工衛星及び
人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結果の評価
に関する審議について(案)

昭和58年10月26日

宇宙開発委員会決定

1. 昭和58年度8～9月期において宇宙開発事業団が行ったNロケット11号機(F)(N-IIロケット4号機(F))による通信衛星2号-b(CS-2b)の打上げの結果を評価するために調査審議を行うものとする。
2. このため、評価に必要な技術的事項について、第四部会において調査審議を行うものとする。この調査審議は、昭和58年11月末までに終えることを目途とする。

(参考)

宇宙開発委員会第四部会構成員

昭和58年10月

(50音順)

部会長	佐貫 亦男	日本大学理工学研究所顧問
部会長代理	内田 茂男	名城大学理工学部教授
専門委員	秋葉 録二郎	文部省宇宙科学研究所教授
	大島 耕一	文部省宇宙科学研究所教授
	小林 繁夫	東京大学工学部教授
	*竹中 幸彦	宇宙開発事業団理事
	中込 雪男	国際電信電話株式会社取締役
	長洲 秀夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所科学研究官
	林 友直	文部省宇宙科学研究所教授
	*船川 謙司	宇宙開発事業団理事
	前田 弘	京都大学工学部教授
	虫明 康人	東北大学工学部教授
	若井 登	郵政省電波研究所長

注) *印の専門委員は、今回の調査審議については、説明者として参加する。